

2016

第7回 中川運河ドラゴンボートレース大会

実施報告

Dragon Boat Race Competition



2016年9月25日(日)

名古屋港漕艇センター全面水域

1. 中川運河ドラゴンボートレース大会開催にあたり

中川運河は開通以来、港と都心を結ぶ水上物流の大動脈として、名古屋圏の発展に大きく貢献してきました。

「環境都市」名古屋市の「水の道」である中川運河の水辺の景観と賑わいを創造し、中川運河ドラゴンボートレース大会を通じて運河再生に向けた機運を高め、みなとの文化・水の文化の活性化を図ることを目的として開催いたします。

皆様方もご承知のとおり、中川運河も時代の流れにより、貨物の輸送形態が変わり、物流運河としての役割が少なくなってきました。

時代の潮流が大きく変化する中で、これまでの歴史を踏まえて、新しい名古屋を支える水辺として、中川運河再生計画が名古屋市・名古屋港管理組合により新たに策定されました。

その計画の中では、本日のこの大会の場所は「レクリエーション」ゾーンとして位置づけられています。本日の「ドラゴンボートレース大会」を通じまして、一日でも早く中川運河の再生計画が実現できることを期待しております。

本日は、楽しいひと時を過ごしていただきたいと思います。

最後に本大会の開催にあたり、共催・後援・協力を頂きました関係者の皆様方に御礼を申し上げますとともに、本大会が成功することを祈念致しまして、簡単ではございますが、ご挨拶いたします。

中川運河ドラゴンボートレース大会実行委員長
特定非営利活動法人伊勢湾フォーラム理事長
品川 誠

2. 実施概要

目的	「環境都市」名古屋市の「水の道」である中川運河の水辺の景観と賑わいを創造し、中川運河ドラゴンボートレース大会を通じて環境再生に向けた機運を高め、みなとの文化・水の文化の活性化を図ることを目的とします。
開催日時	2016年9月25日(日)午前8時30分～午後4時
開催場所	名古屋港漕艇センター全面水域(中川口閘門～いろは橋界限)
主催	中川運河ドラゴンボートレース大会実行委員会
共催	日本ドラゴンボート協会
後援	(中川運河・堀川魅力再発見プロジェクト協議会/中川ライオンズクラブ/名古屋商工会議所/中京テレビ放送/国土交通省・中部地方整備局/名古屋市/名古屋港管理組合/(公財)名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター/中川運河利用者懇談会)
イベント内容	ドラゴンボートレース大会 レース方法は、1レース4艇(1艇22人乗り)にて、距離250m間のタイムトライアルレースを実施します。(オレンジ色の玉ブイを12ヶをスタート、ゴールとその間設置)
イベント参加費	ドラゴンボートレースの参加費は、20,000円/チーム もしくは、1人1,000円(いずれも保険料含む)
事務局	中川運河ドラゴンボートレース大会実行委員会(伊勢湾フォーラム)
エントリーチーム	別紙20チーム
参加者	総勢600名

時間	レース大会当日スケジュール
7:00～8:00	<ul style="list-style-type: none"> ・天気予報確認(連絡)・ブイ張り・ボランティアスタッフ集合 ・関係者全員、漕艇センターに集合・会場設営(テント、ライジングヤット、救急箱等) ・駐車場カーゴ設置等※中止の場合は行政等大会関係者連絡
8:30	・参加チーム受付、開始
9:30	・開会式
9:45	・眼入れ式
10:00～11:00	・予選レーススタート・フレンドシップ
12:00	・昼食・午後の準備
13:00～13:45	・フレンドシップレース終了後、レース再開
14:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰準備・表彰式・閉会式 ・イベント終了・ゴミ収集、処理、テント類撤収・ブイ撤去

3. 参加エントリーチームの紹介

No	チーム名	紹介
1	チームみなとアクルス A	力を合わせて過去最高の記録を狙います！
2	チームみなとアクルス B	中川運河と周辺地域を盛り上げるために頑張ります！
3	尾張闘龍者 With 近江龍人	2016年 九頭龍ドラゴンボート大会の覇者闘龍者(とうりゅうもん)と琵琶湖高島ペーロン大会の覇者龍人(ドランチュ)の MIX チームが誕生。活動拠点は愛知県小牧市と滋賀県大津市と離れているが、中川運河が互いの魂を引き寄せる。心は1つ目指すは頂点、見せるぞ俺達の波動！！
4	香港日本龍 REUNION	古くは 80 年代から香港でドラゴンボートを漕いでいたメンバーが優勝を目指し中川運河に再結集しました。今年もレース後の打上の美酒のため、香港パワーで頑張ります！
5	名港海運	経験者は数名ですが港湾パワーで優勝を目指します！！
6	東海龍舟	私たち東海龍舟は中川運河で毎週末ドラゴンボートを楽しんでいます。私たちと楽しくそして爽やかにドラゴンボートを漕ぎませんか？
7	Red Orca (レッドオルカ)	よく中川運河をRowingで利用しています。いつも横目でドラゴンボートを見て、楽しそうだな！って思っていました。今回は、職場仲間と一緒に出場します。こんな素敵な機会をありがとうございます！
8	レッドドラゴン	夏の暑さは和らいでも、レッドドラゴンのたぎる闘志は冷えぬまま。初出場ですが、一丸となってがんばります！
9	林内龍舟	リナイ(株)からの出場です。経験よりも情熱とパワーで優勝目指して一直線！
10	ポータンズ	名古屋港管理組合の”運河びと”筆頭メンバーです！優勝目指して頑張ります！！
11	JTK21	名古屋市住宅都市局職員によるチームです。中川運河再生に寄与するため全力で漕ぎます!!
12	上下水道局 アメンボ GO!GO!	中川運河の浄化をはじめ、水環境の向上に努めます。
13	中部電力	愛知県・静岡県で働く中部電力(株)社員で構成したチームです。精一杯漕いで漕いで漕ぎまくり上位を狙い、我らの漕ぎで皆さまの心に感動の『ひかり』を灯します。

14	(株)不動テトラ中部支店	若手から古株までの混合チーム。 抜群のチームワークで昨年以上の成績を狙います。
15	キャナチュウドリーム	5年前に結成したキャナルアートと中京テレビの合同チーム。 に、今年は中川運河リミコラインも加わってさらにパワーアップ！久々に入賞を目指します。
16	大手ドラゴン	地元大手学区子ども会。親子で参加です。「楽しく、ケガなく、元気よく」がモットーです。
17	色の会とネコちゃんズといがらしフレンド	「遊びを極める大人の集まり色の会」と「バスケサークルネコちゃんズ」と「名管いがらし with いがらしフレンド」の合同チームです。やる気のあるやつが集まりました!!優勝いただきます!!
18	チーム 中部地整	全員で一丸となり、高潮防波堤のように粘り強く、優勝目指して頑張ります！
19	FC totti	名古屋市内で活動するフットサルチームです。 『みんなで楽しむ』がモットーなので、ドラゴンボートも全力で楽しみます!!
20	ペンタオーシャンパイレーツ	年に一度だけ集まる海賊達が団結して中川運河を突き進みます。

4. 大会結果報告

チーム名	レース対象外		1位、2位、4位	3位タイムレース	
	A 決勝タイム	B 決勝タイム	準決勝タイム	敗者復活	予選タイム
チームみなとアクルス A			1'32"26		1'26"60
Red Orca				1'35"57	1'31"80
上下水道局アメンボ GO!GO!		1'24"97	1'22"98	1'21"84	1'30"49
ペンタオーシャンパイレーツ			1'30"34	1'35"56	1'45"16
東海龍舟	1'07"89		1'15"76		1'19"69
チームみなとアクルス B			1'29"35	1'27"81	1'32"93
レッドドラゴン			1'28"54	1'30"21	1'28"98
色の会と猫ちゃんズといがらし フレンド			1'25"19	1'28"36	1'39"78
㈱不動テトラ中部支店		1'18"93	1'26"81	1'20"27	1'24"40
林内龍舟		1'22"14	1'24"14	1'25"05	1'26"65
尾張闘龍者 with 近江龍人	1'07"60		1'09"69		1'08"48
大手ドラゴン			1'31"40	1'30"04	1'41"99
ポータンズ				1'31"96	1'36"04
キャナチュウダーリーム		1'22"85	1'24"35	1'26"08	1'33"06
香港日本龍 REUNION	1'10"56		1'12"53	1'13"50	1'31"88
チーム中部地整			1'25"62		1'31"25
名港海運			1'28"16	1'30"65	1'34"67
JTK21				1'53"81	1'42"41
FC totti				1'31"46	1'39"53
中部電力	1'08"60		1'12"35		1'13"24

5. 順位

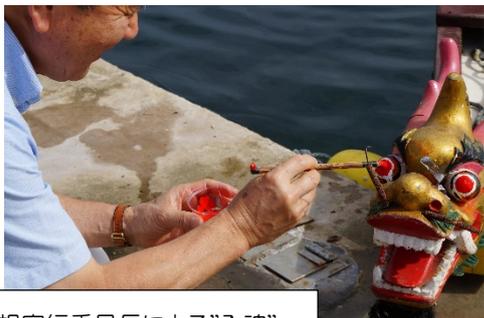
A ブロック優勝	尾張闘龍者 with 近江龍人	1'07"60
2位	東海龍舟	1'07"89
3位	中部電力	1'08"60
B ブロック優勝	不動テトラ	1'18"93
2位	林内龍舟	1'22"14
3位	キャナチュウダーリーム	1'22"85

6. フレンドシップ

参加者全員の交流を目的とした”フレンドシップ”

予選前と決勝戦の前に行い、チームを越え、参加者全員がより楽しむことができた。

7. 写真記録



松尾直規実行委員長による”入魂”



開会式、思った以上に暑い日になった!



今年は”大手学区の地元子ども会”も元気に初参加!



どんなことでも、息を合わせることが大切。仲間っていいね!



家族が、仲間がちゃんと応援している! がんばれ!



こんなひと時はいいね。
ぜったい、美味しい。



何事もチームワークだ! みんな、カッコいいぞ!



審判も、救難も。2役こなします。



Happy smile! “フレンドシップ”

みんなで、ハイタッチ!



この人について行けば間違い! “フレンドシップ”

みんなの good smile!



みんなの good smile!



挙げたかった2人への
good performance! 賞
手羽先の骨服 VS 真田幸村甲冑





当日のレース大会運営を手際よく運んでくれた「東海龍舟」の皆さん。ありがとうございました。



熱戦のレースの数々!



白熱のレースの数々!



勝負に燃える!タイムレースだ

勝ち取った念願の入賞! サイコー!



みんなで呑もうね。ビール!



ドラゴンボート、一日お疲れさま。沢山のみんなの笑顔をありがとう。



8. 収支報告について

※ 大会の運営は基本的にはボランティアで実施し、下記、報告致します。

収入の部		支出の部	
項目	金額(円)	項目	金額(円)
ドラゴンボートレース大会 参加費 20チーム中19チーム分 【但し、1チームは地元参加無料】 協賛金6社	380,000	ドラゴンボートレース費	695,000
	680,000	・ボート運搬、積卸しクレーン代・ 水上船(救難ボート)借上 ・漕艇センター室借上等	
		広報(チラシ)	85,000
		会場設営費 ・テント借上、設営等	80,000
		事務経費 ・保険賞品、飲料水等	200,000
合計	1,060,000	合計	1,060,000

9 大会を終えて…参加者からは下記のように数々のコメントが送られてきた。

- 絶対見られない数の人が集まっており、非常に驚くとともに、(構想としてでなく)親水空間としての転換というのがより現実的に感じる事ができました。今後、市民の参加を増やすことや、会場内での飲食店の出店(今回は、横断歩道がない道路を渡ってスーパーへ行く人が多かったように思います)、競技チームの表示(あるいは、旗をボートに設置する)など、ひらかれた大会としての工夫が必要になろうかと思いますが、大会が無事に、また好評のうちに終わったこと、お喜び申し上げます。
- こうした活動を通じて運河に関する「関心」を増やしていくことが重要であると思います。
- 毎年、参加者が増えており、中川運河の再生、活用につながる大会になってきたように感じています。今後ともよろしくお願い致します。
- 社員も日ごろ話さない他部門の人たちと交流ができ、また結果も出すことが出来てとても喜んでおりました。
- 一番有意義でしたのは、伊勢湾フォーラム様、チャンネルアート様、中京テレビ様等、行政、地域団体・企業の方々との交流を図れたことです。
- 来年も是非参加できるよう、社内の機運を盛り上げていきたいと思っております。
- トーナメント表に勝ち抜いたチーム名を書き込んでいただけると、今、自分たちがどこまできているのかが分かりやすい。
- 社会人になるとスポーツ勝負から遠ざかってしまい、机に向かうだけのメリハリのない毎日を過ごしている中、ひとつのきっかけが沢山の繋がりをもたらしてくれたことで、次への自信に繋がった。

「ドラゴンボート」水の上でスピードを競うスポーツ。この競技は、紀元前の中国までさかのぼり、鼓手が打ち鳴らす太鼓の音に合わせ、漕ぎ手が一糸乱れずパドルを繰り返す様は、見るもの、参加するものの心に熱い興奮と感動を呼び起こした。

ただ漕ぐだけでなく、漕ぎ手全員のタイミングが合わないとスムーズな前進が出来なく、パドルを漕ぐのは口で言うほど簡単ではないが、乱れるとタイムが出ない。チームひとりひとりが皆を思いやり、信じる気持ちは何よりもものをいう。参加者全員のきらきらとした笑顔がとても印象深く、この大会を通じてひとつになっていた各チームがとても素晴らしかった。どうしたらタイムが縮むか、だれをどこに配置するか、パドルの持ち方、体勢はどんな感じがベストなのか等、強い日差しの下で、頭をつけ合わせこうして自分たちのチームの戦略を考えていたりする光景は、心から楽しんでくれてほんとうにありがとう、という気持ちになった。

また、今年はありがたいことに協賛頂けた企業 8 社と、地元市民、近郊に立地する企業が積極的に参加してくれたことで、ますます運河への注目度も上がり、エリア興しへの積極性も垣間見れた大会であり、だれが、どこが、ではなく、みんなで盛り上げた大会となった。

~One for all, All for one~

一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために